

研究課題名	当院における開胸術後の在院日数と早期離床についての検討
実施責任者	リハビリテーション部 技師 恒川裕気
研究の概要	心臓手術後には合併症や体力低下の予防が重要であり、術後早期からリハビリテーションを実施することが推奨されている。具体的には、出来るだけ早く身体を起こして座位時間を確保し、早期の歩行へとつなげる。このような術後早期のリハビリテーションにより、可能な限り体力を維持し在院日数を短縮することを目標としている。当院では、安全を確認した上で術後早期からの歩行開始を試みており、歩行を早期から開始できた方ではより少ない在院日数で退院を迎えることができていると考えられる。そこで、本研究の目的は、心臓手術後の歩行開始日と術後の在院日数との関連を調査することである。
実施の期間	西暦 2016年 4月 1日より 西暦 2019年 3月31日まで
研究対象	名古屋掖済会病院の心臓血管外科で手術され、リハビリテーションが実施された方。